

## 熊本県立牛深高等学校 令和7年度(2025年度)学校評価表

1 学校教育目標
<p>スクール・ミッションおよびスクール・ポリシーをふまえ、生徒に校訓「敬愛・勤勉・創造」を体得させ、地域の未来を託すことができる人財へと成長させる。</p> <p>※校訓を体得した人財が備える資質・能力は「牛高 esse」として整理</p>

2 本年度の重点目標
<p>(1) 一人ひとりをかけがえのない存在として健やかに成長させる教育活動の実践</p> <p>(2) 生涯にわたって自律的に学び続ける力を育む教育活動の実践</p> <p>(3) 地域とともに生徒を地域の宝として磨きあげる教育活動の実践</p>

3 自己評価総括表						
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校経営	魅力ある学校づくり	生徒・保護者の学校生活満足度を向上させる取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価アンケートにおいて9割以上の回答が「満足」の状態をめざす</li> <li>生徒の進路目標が達成された状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の心理的安全性を高める取組を推進する</li> <li>生徒が生き生きと輝き成長を遂げる教育活動を実践する</li> <li>生徒が様々なことに挑戦する機会を数多く設定する</li> </ul>	A	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒・保護者の学校生活満足度向上に向けた取組において、数値目標を達成した。</li> <li>中高合同行事を増やし、生徒が生き生きと活動できる場面を拡充することができた。</li> <li>前期選抜志望者は前年度比1.3倍となった。</li> <li>牛深高校魅力化基金を創設し、長島町からのフェリー通学希望者への助成を実施できる体制を構築した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒募集に係る数値目標は未達であり、魅力化コンソーシアムと連携した効果的なPR活動の工夫が必要である。</li> </ul>
		生徒募集に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣中学校からの入学率50%程度の状態をめざす</li> <li>近隣中学校以外からの志望者3名以上の状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生と保護者の関心を喚起するPR活動を工夫する</li> <li>近隣中学校との合同行事を行い生徒間の交流機会を増やす</li> <li>近隣中学校以外から本校に志望しやすい環境整備を推進する</li> </ul>		
働き方改革が進んだ働きやすい学校づくり		学校経営を揺るがず深刻な事態を未然防止する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>重大な事故・事件や不祥事等が0の状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令遵守を徹底する</li> <li>危機管理マニュアル等の周知徹底を図る</li> <li>効果的な職員研修を実施する</li> </ul>	A	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重大な事故・事件や不祥事等はなかった。</li> <li>職員研修を2回実施し、意識の高揚を図った。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務改善のため、通学支援事業などさらなる取組が必要。</li> </ul>
		職員の学校生活満足度を向上させる取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互に支え合いながら業務に当たり仕事と家庭生活の調和が図られ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校務DX等の推進による業務改善を進める</li> <li>各種支援員等の効果的活用を工夫する</li> </ul>		

			ている状態をめざす			
学力向上	授業において生徒が達成感を味わうことができる学校づくり	職員の教科指導力向上のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価アンケートの結果が前年度を上回る状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業週間の設定し、授業参観の推進する</li> <li>年2回の授業評価アンケートによる授業改善を図る</li> <li>教育課程検討委員会を中心として教育課程の魅力化を図る</li> </ul>	B	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業週間の参観者数が前年度を上回った。</li> <li>学校設定科目の新設や半期科目の開設など教育課程の魅力化を図ることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価アンケートの結果が前年度を下回ったため、授業改善が必要。</li> </ul>
		「自律的学習者」育成に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が教科書を読んで授業内容を予習する習慣を身に付けることをめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>牛深高校「授業のスタンダード」を徹底する</li> <li>授業評価アンケート等を活用して予習習慣の定着度合いを定期的に把握し授業改善を図る</li> </ul>	B	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>半数以上の生徒たちが教科書を読んで予習をする習慣を身に付けることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前期よりも予習に取り組む生徒の割合が減少しているため、次年度に向けて工夫が求められる。</li> </ul>
キャリア教育（進路指導）	進路指導体制が整備された学校づくり	生徒の目標を叶えるサポート体制構築の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望が100%達成された状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路情報を組織全体で共有し進路指導（全体指導及び小論文や面接指導、個別添削等の個別指導）の充実を図る</li> <li>個人面談や進路ガイダンス等を計画的かつ組織的に実施する</li> <li>ポートフォリオやキャリアパスポートの効果的活用法を研究する</li> </ul>	A	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進路に関する検討会を実施し、進路情報を全体で共有した。</li> <li>多くの3年次の生徒が希望する進路先に合格することができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ポートフォリオやキャリアパスポートを生かした生徒自身の進路意識が向上するような取り組みを実施する必要がある。</li> </ul>
	適切なキャリア発達支援を行う学校づくり	自己理解の深化及び適切な勤労観・職業観を育成するための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自らのあり方や生き方についての明確な方向性を見出した状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育に関するグランドデザイン等を策定する</li> <li>LHRや産業社会と人間、総合的な探究の時間における進路探究活動の充実を図る</li> </ul>	B	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育に関するグランドデザインを策定することができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グランドデザインを具現化し「自律的学習者」として生涯にわたって成長し続ける資質・能力を身につけることができるキャリア教育の構築が必要。</li> </ul>
生徒	牛深高校生としての自覚と	基本的な生活習慣の実践と互いの成	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールやマナーを守った行動が実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集団行動を伴う各種集会等を有効活用する</li> </ul>	B	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も生徒会を中心とし、これまでにない</li> </ul>

指導	誇りを持って行動できる学校づくり	長を期する姿勢を育成する取組	<p>践された状態をめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事等への充実感や満足が高まった状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内外活動における地域との連携によりPCEsの機会を数多く設ける</li> </ul>		<p>行事の企画運営ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちでルールやマナーを守らなくてはいけないという意識を持つ生徒が増えてきた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8時20分の登校時間に対する意識が低い生徒が複数見られる。</li> </ul>
	交通安全・防犯意識が高い学校づくり	正しい交通ルールやマナーを理解させ実践させる取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故が防止された状態をめざす</li> <li>・個人ロッカーの使用等、防犯意識が高まった状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検を確実に実施する</li> <li>・交通安全等に関するLHRを効果的に実施する</li> <li>・交通安全教室への参加を促す</li> </ul>	A	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招聘し交通安全教室を行った。</li> <li>・自転車ヘルメット着用努力義務化を踏まえ、指導の徹底を図り、着用率100%となった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人ロッカーの使用の状況（施錠の徹底）を含め、防犯意識をさらに向上させる必要がある。</li> </ul>
人権教育の推進	人権を尊重しあう学校づくり	教育活動の基盤に人権教育をおいた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活のあらゆる場面で人権尊重の態度が発揮された状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりを大切に誰一人取り残さない教育実践を行う</li> <li>・人権教育を基盤とした授業実践を行う</li> </ul>	A	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の計画に沿って着実に取組を行った。</li> <li>・人権を尊重しあう学校づくりを進めることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LHRを中心に実施している人権教育にとどまることなく、授業をはじめすべての教育活動における人権教育の充実が必要。</li> </ul>
	命を大切にす心を育む学校づくり	生命尊重の精神を養う取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけがえのない存在として自他の命を尊重し輝かせようとしている状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の存在のかけがえのなさを実感させる教育実践を行う</li> <li>・教育活動全体において命を大切にする教育活動を充実させる</li> </ul>	B	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会や運営委員会にも生徒情報共有の場を広げ、学校組織全体での対応に繋がった。</li> <li>・学校評価アンケート関連項目の肯定的回答は生徒98%であり、保護者97%であった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識100%を目指し、日々の教育活動を通じて人権意識の涵養と醸成を目指す。</li> </ul>
いじめの防止等	いじめを許さない学校づくり	いじめを未然防止する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけがえのない存在として互いに思いやり大切に行っている状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりを大切に誰一人取り残さない教育実践を行う</li> <li>・生徒情報の共有と見守りを徹底する</li> </ul>	B	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・些細な生徒の変化を職員間で情報共有を図り、いじめの未然防止に努めた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して、いじめの未然防止のための対応方策等について検討が必要</li> </ul>

						<p>要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各クラスにおいて「いじめを許さない雰囲気」作りを推進する必要がある</li> </ul>
		いじめの早期発見・早期解決を図る取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害者およびいじめの疑いに気づいたすべての者が安心して申し出ることができる状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭と連携し生徒の些細な変化も見逃さない</li> <li>法令にもとづき積極的にいじめを認知する</li> <li>いじめ被害者に寄り添い適切に対応する</li> </ul>	A	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの実施、相談できる環境の整備等により、早期発見と迅速な対応を図ることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続して、いじめの早期発見と迅速かつ適切な対応方策等について検討が必要。</li> </ul>
地域連携（コミュニケーション・スクールなど）	地域に根差した学校づくり	地域との連携を強化する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会やCOREコンソーシアムにおける提言がそれぞれ1つ以上具現化された状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域行事への積極的参画に努める</li> <li>学校運営協議会等の提言等を学校運営に迅速に反映させる</li> </ul>	A	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のイベントや祭事に部活動やボランティアとして継続的に参加できている。</li> <li>COREコンソーシアムで提言された夏合宿を実施した。</li> <li>中高合同マラソン大会を実施した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼保小まで含めた連携体制を構築し、取組のさらなる強化を図る必要がある。</li> </ul>
	学校を核とした地域づくり	地域の魅力化や持続化に貢献する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校魅力化コンソーシアムが構築され年度内に実働する状態をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者への説明と協力依頼を行う</li> <li>学校魅力化コーディネーターの効果的活用について研究する</li> </ul>	B	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校魅力化コンソーシアムが年度内に構築される見込みである。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数名を予定していたコーディネーターが、現時点で確保できていない。</li> </ul>

<p>4 学校関係者評価</p> <p>(学校経営について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒・保護者の満足度向上を目標に掲げ、心理的安全性の確保や挑戦の機会の充実に取り組む姿勢は顕著であった。</li> <li>フェリー通学支援や魅力化基金の創設など、具体的な環境整備が進んでいることは評価できる。</li> <li>生徒募集について、魅力化コンソーシアムを核とした戦略的かつ継続的な活動の工夫が求められる。</li> </ul> <p>(学力向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価アンケートの結果が前年度を下回ったので、授業改善のための取組が急務である。</li> <li>半数以上の生徒たちが予習をする習慣を身に付けることができたが、自律的学習者の育成のためにより授業スタンダードの徹底が必要である。</li> </ul> <p>(キャリア教育・進路指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進路目標達成に加え、子どもたちが自ら夢を描き、その可能性を広げていくことができるよう、引き続き取組の充実を図ってほしい。</li> <li>地域資源をより一層活用しながら、地域全体で子どもたちの夢を支える学校づくりを推進し</li> </ul>
--

てほしい。

(生徒指導)

- ・生徒会を中心とした行事運営や交通安全指導の徹底は、生徒の主体性や規範意識の向上につながっていると評価できる。
- ・生徒の挨拶は大変素晴らしい。今後は、ロッカーの施錠の徹底など、防犯意識の向上を図り、他地域でも通用する社会的常識の確実な定着に努めてほしい。

(人権教育・いじめ防止)

- ・人権を尊重する学校づくりが着実に進められている。
- ・今後も、生徒の小さな変化を見逃さず、家庭や関係機関と連携した丁寧な対応を継続してほしい。

(地域連携・コミュニティースクールなど)

- ・地域行事への積極的参加やコンソーシアム構築など、地域とともにある学校づくりが進展している。
- ・幼保小中との連携をさらに深め、地域全体で子供を育てる体制の強化が望まれる。

## 5 総合評価

2回実施した学校評価アンケートの結果は、生徒・保護者ともに高い満足度を示し、本年度の教育活動に対して概ね良好な評価を得ることができた。全職員が共通理解のもと、生徒一人ひとりに寄り添いながら教育活動を推進してきた成果が表れているものと受け止めている。

本年度の重点目標については、自己評価総括表を踏まえ、以下のとおりの評価とした。

### (1) 一人ひとりをかけがえのない存在として健やかに成長させる教育活動の実践

心理的安全性の確保を意識した取組や、人権教育を基盤とした教育活動を推進し、生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりに努めた。その結果、重大な事故・事件や不祥事等はなく、生徒・保護者の学校生活満足度も目標値を達成することができた。

また、生徒会を中心とした行事運営や交通安全指導の徹底などにより、生徒の主体性や規範意識の向上が見られた。今後は、すべての教育活動を通じて「誰一人取り残さない」学校づくりを一層推進していきたい。

### (2) 生涯にわたって自律的に学び続ける力を育む教育活動の実践

教育課程の見直しを行うなど、教育内容の充実と魅力化を図った。また、進路指導においては、組織的な情報共有と個別指導の充実により、多くの生徒が希望する進路を実現することができた。

しかしながら、「自律的学習者」の育成という観点では、予習や家庭学習の習慣化、主体的に学ぶ姿勢の定着などに課題が残っている。さらに、生涯にわたり成長し続ける力を育むための体系的なキャリア教育の構築も、課題である。

今後は、授業のスタンダードの徹底をはじめとする授業の充実を図るとともに、地域人材を生かした教育活動を推進し、生徒が主体的に学び続ける力の育成に一層取り組んでいきたい

### (3) 地域とともに生徒を地域の宝として磨きあげる教育活動の実践

地域行事への継続的な参加や中高合同行事の実施、CORE コンソーシアムでの提言の具現化など、地域と連携した教育活動を推進することができた。また、牛深高校魅力化基金の創設や通学支援体制の整備など、環境面の充実も図られた。

一方で、生徒募集に係る目標は未達であり、学校の魅力をより効果的に発信する取組の強化が求められる。今後は、魅力化コンソーシアムやコーディネーターの活用を進めながら、地域と一体となった持続可能な学校づくりをさらに推進していきたい。

## 6 次年度への課題・改善方策

本年度も、地域・生徒・保護者から比較的高い評価を得たものの、引き続き改善が必要な点も見られた。次年度は以下の3つの課題に重点を置き、より良い学校づくりを目指す。

### (1) 生徒募集について

【課題】

- 近隣中学校以外からの志望者がいない。
- 学校の特色や教育活動の魅力が十分に伝わっていない。

【改善方策】

- 魅力化コンソーシアムを中心とした戦略的な広報計画を策定する。
- 学校魅力化コーディネーターの確保と効果的活用を図る。
- 中高連携事業を拡充し、中学生が本校の教育活動を体験できる機会を増やす。
- HP や SNS 等を活用し、生徒の具体的な成長や挑戦の姿を積極的に発信する。

### (2) 学力向上について

**【課題】**

- 予習・家庭学習の習慣が十分に定着していない。
- 主体的に学び続ける姿勢の醸成が十分とはいえない。
- 主体的に学びに繋がる基礎学力が必要。

**【改善方策】**

- 牛深高校「授業のスタンダード」を徹底し、予習を前提とした授業づくりを推進する。
- ICT教材や遠隔授業の活用を拡充し、個別最適な学びを実現する。
- ORSノート作成を継続し、教科書を読む力をつける。

(3) キャリア教育について

**【課題】**

- 生涯にわたり成長し続ける力を育むキャリア教育の体系化について、さらなる改善が必要である。
- 生徒の進路意識の一層の向上を図る必要がある。

**【改善方策】**

- キャリア教育グランドデザイン及びロードマップの改善を行う。
- 探究活動と進路指導を有機的に関連付け、生徒の自己理解を深めるとともに主体的な進路選択を促す。
- 保護者への進路情報提供を充実させ、家庭と連携した進路支援体制の強化を図る。

次年度は、生徒一人ひとりが「かけがえのない存在」として尊重されながら、自ら学び、挑戦し、地域とともに成長していく学校づくりをさらに推進していく。